

**J Aバンク福島における
地域密着型金融の取組状況について
～2019年度～**

2021年2月

農林中央金庫 福島支店

- ▶ J Aバンク福島（県下5 J Aと農林中央金庫福島支店）では、農業と地域社会に貢献するため、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- ▶ 2019年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

目次

- 1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援
(J Aバンク福島の農業メインバンク機能強化の取組み) … P 3
- 2 担い手の経営のライフステージに応じた支援 … P 1 0
- 3 農山漁村等地域育成への貢献 … P 1 5

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援 （JAバンク福島の農業メインバンク機能強化の取組み）

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

- ▶ JAバンク福島は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- ▶ 2020年3月末時点のJAバンク福島の農業関係資金
(注1) 残高は、32,971百万円、日本政策金融公庫等の
受託貸付金 (注2) 残高は1,170百万円となっています。

(注1) 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンク福島が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取り扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】 (単位：百万円) (注1)

	2020年3月末
農業	17,731
穀作	3,000
野菜・園芸	1,090
果樹・樹園農業	930
工芸作物	23
養豚・肉牛・酪農	820
養鶏・鶏卵	4
養蚕	0
その他農業 (注2)	11,863
農業関連団体等 (注3)	15,240
合計	32,971

(注)

1 百万円未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致していない場合がございます。

2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

3 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等が含まれています。なお、本残高には、信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

(単位：百万円) (注1)

種 類	2020年3月末
プロパー農業資金(注2)	27,712
農業制度資金(注3)	5,259
農業近代化資金	3,854
その他制度資金(注4)	1,405
合 計	32,971

(注)

1 百万円未満を四捨五入しているため、内訳と合計が一致していない場合がございます。

2 プロパー農業資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。また、プロパー農業資金の残高には信用事業を行う系統団体に対する日銀成長基盤強化資金等の制度資金の原資資金が含まれています。

3 「農業制度資金」は、①地方公共団体もしくは日本政策金融公庫の資金をJAバンク福島が転貸で融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク福島が低利で融資するものを対象としています。

4 その他制度資金には、日本政策金融公庫の転貸資金、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)、農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

5 JAバンク福島では、JAを窓口として、日本政策金融公庫の受託貸付金を取り扱っております。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

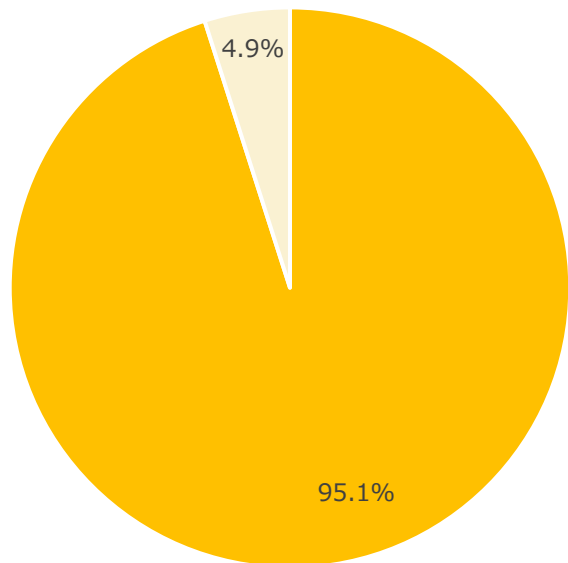
種 類	2020年3月末
日本政策金融公庫資金	1,170
その他	0
合 計	1,170

【福島県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱シェア】

- ▶ JAバンク福島は、主要な農業関係の制度資金である農業近代化資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

農業近代化資金 融資残高シェア

(県内)



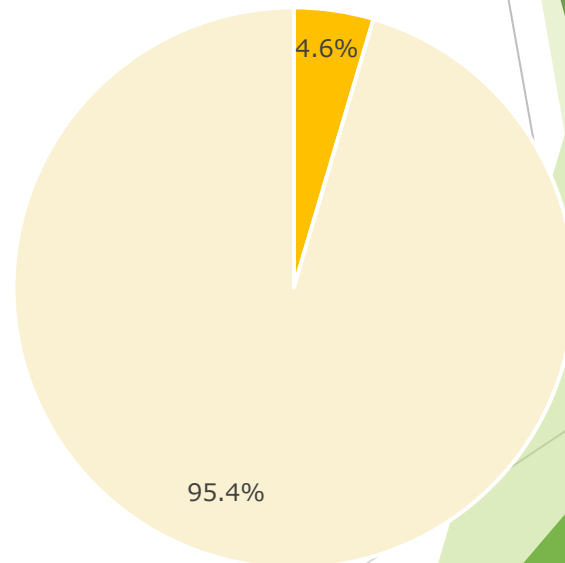
■ JAバンク福島 ■ その他金融機関

(2019年12月末時点)

出所：農林水産省・農林中央金庫

日本政策金融公庫 農業資金残高シェア

(県内)



■ JAバンク福島 ■ その他金融機関

(2020年3月末時点)

出所：日本政策金融公庫・農林中央金庫

(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

- ▶ J Aバンク福島では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。
- ▶ J Aでは、本支店の農業融資担当者が、営農・経済担当者と連携し、農業融資に関する訪問相談・資金提案活動を実施しています。また、県内5 J Aと金庫支店に計18名の「担い手金融リーダー」を設置し、活動のサポートをしています。
- ▶ また、J A系統独自の農業融資資格制度「J Aバンク農業金融プランナー」を導入しており、J Aバンク福島においては、計179名が資格を保有しております（2020年3月末時点）。
- ▶ 農林中央金庫福島支店では、J Aにおける農業融資機能の強化に向けた取組みのサポート（農業者からの相談のバックアップ、J Aとの協調融資など）や、県内農業法人との新規取引等の強化を目的として、「営業第一班・営業第二班」を設置しております。

(3) JA内事業間連携

- ▶ 農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、金融部署と営農・経済部署等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

取 組 内 容

JAの事業基盤である農業者への定期訪問活動において、金融部署と営農・経済部署が連携し、同行訪問や合同の情報連絡会議を開催。農業者の幅広いニーズ・意見に対応することにより、利用者満足度向上に取り組んでいます。

JAの農機販売部署や営農・経済担当者を対象に、農業資金に関する知識と借入手続等の研修会を開催し、スムーズな資金の提供に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

(1) 次世代農業者の育成支援

- ▶ JAバンク福島では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金(公庫)・JA新規就農応援資金を取り扱っています。
- ▶ JAによっては、市町村と連携しワンフロアー化による新規就農相談窓口の設置を行っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱い実績】 (単位：件、百万円)

資 金 名	2019年度 実行件数	2019年度 実行金額	2020年3月末 残高
青年等就農資金	18	78	381
就農支援資金	-	-	45
JA新規就農応援資金	4	9	59
合計	22	87	485

(2) 農業法人とのネットワーク拡大

▶ J Aバンク福島は、農業法人協会と連携し、農業経営改善等にむけたセミナーを開催しています。

【イベント開催状況】

イベント名	開催日	主催者	参加者数	内容
農業経営者のための消費税軽減税率・インボイス導入対策セミナー	2019年 9月27日	・農林中央金庫福島支店 ・うつくしまふくしま 農業法人協会	60名	にしまゆみこ税理士事務所 西山税理士を講師として当制度の概要や目的、事業者に与える影響等について講義を実施。

(3) JAバンク利子補給事業等

- ▶ 農業者に対する、農業近代化資金、アグリマイティー資金、農機ハウスローン等の融資について、農業振興等に貢献するため設立されたJAバンクアグリ・エコサポート基金および農林中央金庫が最大1%の利子助成・利子補給を行い、農業担い手をサポートしています。
- ▶ 利子助成・利子補給の交付実績合計は、県内全体で3,186件、42百万円となりました。

(4) 台風により被害を受けた方等への支援

- ▶ J Aバンク福島および J Aグループ福島では、2019年台風19号により被災した農業者を支援するため、福島県と連携し、低利の資金を対応しました。

取組事例	J A名	内容	件数	貸付実行額
2019年台風19号 対策資金の対応	県内 J A	台風19号により農業経営に被害を受けた農業者等を対象に、福島県の利子補給に加え、J Aグループ福島でも利子補給を実施し、低利の資金（農家経営安定資金）を対応。	42件	156百万円

3 農山漁村等地域育成への貢献

(1) 食・農への理解推進

- ▶ J Aバンク福島は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、J Aバンク食農教育応援事業を展開し、農業にかかる教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入等に取り組んでいます。
- ▶ 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、J Aバンクを通じて、2019年度には県下の5年生在校の小学校や特別支援学校等451校へ約19,300部が配布され、学校の授業等において活用されています。



写真： 教材本贈呈式の様子



写真： 贈呈した教材本